

標準学力調査に係る「国語科課題改善授業実践講座Ⅲ」実施報告

講座名	「国語科課題改善授業実践講座Ⅲ」
講師	相澤秀夫 氏(宮城教育大学教職大学院教授)
実施日時	平成23年2月20日(日) 12:00～14:00
参加者	33人
講座内容	確かなことばの力が身につく授業 ～子どもも教師もわくわくする授業づくり～
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ○ 初めて参加しましたが、自分の授業を振り返ってみると、相澤先生のおっしゃる「良くない授業」であったことを実感しました。子どもの思考が持続する授業づくりを実行していきたいです。 ○ 相澤先生の講座に参加させて頂くのは2回目です。「遅い子を待たない」「机間指導をしながら良い点を褒め、参考にさせる」「意図的な指名をする」などを意識するようにしています。 ○ 今年3回目の受講で、やっと先生のご指導に沿った授業に近づくことができたと感じます。 ○ 今年度、相澤先生のお話を伺うのは4回目になります。研究所主催の3講座と教育実践セミナーです。どれも子どもの視点に立った実践的な内容でした。先生のお話を活かしながら授業を進めたところ、今までとは違う生徒の反応と私自身の喜びがありました。だんだんと発問も絞り込めるようになり、読みを大切にすることもなりました。まだまだ学びたいことがたくさんあります。またお願いします。 ○ 日曜日にもかかわらず、こんなに多くの先生方が受講していることに驚きました。相澤先生の講話が私たちの明日の授業にすぐにつながることを実感できるからだと思っています。私はもう4回ほど相澤先生の講座を受けさせて頂いていますが、何度受講しても新たな学びがあります。 ○ 先生の授業は思考が持続し、『疲れる授業』です。でも、終わったあとに充実感があり、満足した気持ちになりました。自分自身の授業を振り返るまたとないチャンスでした。

